

在ミラノ総領事館 防犯アドバイス

ミラノでは、スリ・置き引きなどの盗難被害が多発しています。多くの場合、所持品から目を離した隙に気づかないうちに盗まれており、特に多くの人が集まる場所では常に注意が必要です。

1 被害多発場所

- ミラノ中央駅及び中央駅を通過、出発及び到着する列車内
- ドゥオーモ駅、同駅を通過する列車内及び周辺地域
- 見本市会場 (Rho Fiera) 及び見本市に向かう列車内

2 手口とその対策

○ スリ

スリ被害の多くは、ミラノ中央駅を通過する地下鉄車内及び中央駅のオートウォークで発生しています。犯人は、被害者の方が切符を買う際に、財布をどこにしまったかを見ていて、車内やオートウォークで盗むと思われれます。

>対策< リュックサックやバッグは体の前に抱える。ジッパーなどの開口部分を握る。財布と旅券は分けて携行する。切符を買うための小銭入れと多額の現金を入れた財布を分けて持つ。

○ 置き引き

駅の窓口で切符を購入する際、食事中、ショッピング中などに、足元、身の回り、いすの上などに置いていたバッグを盗まれるという被害が発生しています。また、見本市会場で商談中に鞆等を盗まれる被害も増えており、商談中であっても貴重品や鞆等への注意が必要です。

>対策< 貴重品は、必ず身につける。商談中であっても、注意を怠らず鞆等から目を離さない。荷物は必ず身近な場所に置く。

○ ひったくり・車上荒らし

ひったくりの被害も時折発生しています。路上だけでなく、駅構内を通行しているときや、列車に乗り込み発車するまでの間に、荷物をひたたくられる被害も発生しています。

また、乗車中に車の扉を開けられ、膝の上などに置いていたバッグを盗まれる被害や、車のタイヤをわざとパンクさせ、ドライバーが車から降りてタイヤを点検している際に車内の荷物を盗む車上狙いも発生しています。

>対策< 歩行中は、車道とは反対側に荷物を持つようにしましょう。列車の中で扉付近に立った場合は、荷物をしっかりと持ちましょう。

乗車中、また短時間であっても車を降りる際は、必ず扉をロックし、貴重品は身につけておくようにしましょう。